

留萌市下水道  
事業スタート

「留萌にも早く下水道を整備してほしい」——近代的な町づくりが進む中で数年前からいわれてきました。「下水道」は、家庭の台所や水洗トイレ、工場や事業所などからなる汚水、雨水などを取除き、科学的に処理する施設で、私たちの生活環境を快適にする基幹施設といえます。市では、この下水道計画に昨年着手し、調査等を進めてきましたが、さる一月二十一日の都市計画審議会に案を諮問、区域割りなどの了承を得ましたが、その概要についてのべてみることにしました。

## 第一期工事六十年完成をめざして

### まちづくり明るい暮らしに下水道

留萌市にとって下水道はなぜ必要なのか……このことについては、昨年九月からの「広報るもい」に三回にわたってシリーズで掲載してきましたので、詳細については除きます。

しかし、都市計画法でも、町づくりの最低の施設として道路、公園、下水道を定めるようになっています。

留萌市にとつて下水道はなぜ必要なのか……このことについては、昨年九月からの「広報るもい」に三回にわたってシリーズで掲載してきましたので、詳細については除きます。

しかし、都市計画法でも、町づくりの最低の施設として道路、公園、下水道を定めるようになっています。

ちなみに下水道の普及状況は全国平均を見ても約二十一年に過ぎず、欧米など他国に比較して見ると著しく遅れています。

このため、国や道、各市町村でもこれらの施設整備計画を促進しているのが現状です。

市としても、何とか下水道を実現し、衛生的な街づくりをしたいと考えるわけですが、これら施設

の汚染の原因となっています。この傾向は留萌市でも例外ではありません。公共用水域の汚濁防止の一手段として公共下水道を設置し、終末処理する方法が一番よいと考えられます。

また、都市施設としての下水道は、文化的な生活を営むために上水道とともに欠くことのできない

整備のためにはどうしても多額の費用と年月が必要となります。

このためには、市民一人ひとりが「下水道」の必要性を認識していただき、ご協力をいただかなければ実現是不可能ではないでしょうか。

では、この計画概況について見ることにしましょう。

### 基本計画のあらまし

#### ／下水道はなぜ必要？

下水道事業には、いろいろな方法がありますが、一般的なものとして公共下水道があります。

公共下水道は家庭污水や工場排水

施設です。

#### ／七十年には目標達成に

全体計画の概要として、既成市街地を中心に、都市計画区域のうち昭和七十年想定市街地区域の約七百七十一翁を計画区域（右下）

図を参照してください」とします。計画区域人口は五万人とし、污水中継ポンプ場は四ヶ所（大町地区、浜中町地区、東雲地区、春日地区）に、また、処理場は船場町に一ヶ所とします。

第一期計画は本年着手

第一期分の事業は、昭和六十年までとして、対象となる区域は駅前を中心とした区域は駒五十嵐町をはじめ、国鉄留萌本線の内側と、留萌川と国道二三二号線にはされた人口密集市街地約百七十五翁で、予定処理人口は一萬六千六百人です。

#### ／施設の概要

下水道施設は私設下水道と公道とに大別され、私設下水道は宅地

### 負担も大きいが必要な下水道

公共下水道の概要をお知らせしますが、この事業には多額の費用を要するもので、七十年完成までの総工費は約二百四十億円と予想されます。

しかし、生活環境の整備や河川海の汚染防止からしても、ぜひ必要な事業なのです。

市民みなさんの深いご理解とご協力をお願いしなければ、目標に達することはできません。

このため事業費は、国や道費補助、起債、市費、その他この施設を使用する方々からの受益者負担金使用料によってまかなわれる

または工場の所有者が公共下水道の污水樹まで、排水発生個所から取付管で自己負担で設けるものであります。また、公共下水道は雨污水樹及管路、ポンプ場、処理場、吐き口までをいい、工事は市が行ないます。公共下水道の計画は雨水と污水は別管で流れ、雨水は直接公共用水域に流下されます。

污水は管路で処理場に集められます。高級処理されて留萌川に放流されます。

つまり、家庭污水や工場排水は汚水管で流集し、高級処理のあと留萌川へ放流。雨水は側溝（U字トラフ）又排水路（暗渠）ヒューム管（暗きよ管）等各處にマンホール（土溜樹）を経由して、河川海へ放流するものです。

受けすることになります。

そこで、「受益者負担」のご理解をいただかなければなりません。市としては、種々の事業をかかえており、この事業計画から教育社会福祉事業と広範囲にわたる仕事を進めているわけで、この中から下水道事業のみにふり向ける費用にも限度があります。

この中にあてる一般市費分については納税に頼らなければなりません。また、下水道が完備されることにより、区域内の土地利用高値などで、その地域の人たちが恩恵を

